



# 南木曾町土石流災害にボランティア派遣

## 第1陣16日は根橋事務局長、他4名

第2陣18日は木曾地協  
中心に11名が参加!



梨子沢

### ボランティアセンター閉所

南木曾町社会福祉協議会は19日、9日の土石流で家屋などに流れ込んだ土砂を運び出すボランティアの需要が一段落したとして、「災害ボランティアセンター」を閉所した。町社協は今後、被災者の話し相手となったり、ごみ出しを手伝ったりする生活支援が必要となるとし、こうしたボランティアを受け入れる「生活復興支援センター」（仮称）を22日に開設する。

災害ボランティアセンターが開所した12日以降の参加者は延べ106



### 住民ら延べ1062人に「感謝」

亡くなった樽沼海斗君の学習ドリルに付いた泥を落とすボランティアセンターの運営スタッフ19日午前10時半、南木曾会館



2人。最終日のこの日はこれまでで最多の239人が、道路の植え込みの土砂を取り除き、被災建物から荷



物を運び出したりした。町公民館三留野分館では約50人が、土俵を覆う土をラッコップで削り取った。

ボランティアたちは、土砂の中から見つかった写真などをきれいにする作業もしてきた。19日は、土石流で亡くなった中学1年樽沼海斗君の名前と「ドリル」と記されたファイルもあり、表面に付いた泥を丁寧にぬぐっていた。

この日、土砂が流れ込んだ美家の倉庫からボランティアと共に本などを運び出した須坂市の学校図書館司書花井聖美さん(31)は「お手伝いはありがたいです」と話した。

